

木造建築物等の耐震化のさらなる促進も図ります。耐震化や家具の固定などの普及に向けた啓発を強化してまいります。

上水道施設および管路の耐震化も推し進めます。水道施設や老朽化した管路の耐震化を進め、各配水区間の連絡管整備や配水区域内の管路ループ化に繋げてまいります。



配水管布設工事(基幹管路)の様子

地域防災情報通信システム(同報系)は、災害情報伝達手段への一斉送信機能の導入や有線網の整備による回線の冗長化を行います。

浸水被害の軽減に向けた歩みも進めてまいります。雨水事業を実施している**半田川田排水区**では、ポンプ場の整備が完了したことから継続して進めている第1雨水幹線の築造に加え、令和6年度は新たに3カ年の継続事業として第2雨水幹線の築造に着手します。**藤方第二排水区**では、いよいよ大口径の掘削に着手します。さらに「雲出川水系流域治水プロジェクト」の一環となる一志地域の浸水対策として雨水排水施設の基本・詳細設計を進めるとともに、**桜橋ポンプ場**を改築し施設の老朽化対策も進めてまいります。

消防力も強化します。北消防署に続き、**中消防署西分署**については解体工事および造成・外構設計に、北消防署跡地に整備する**火災・山岳救助等を想定した複合型訓練施設**については解体工事および造成・外構工事に着手し、整備を進めてまいります。

令和5年の救急出動件数は1万8,110件で過去最多となりました。本年4月から**三重大学医学部附属病院**がバックアップに入る**新たな二次救急輪番体制**に移行します。救急搬送時間短縮に向けて、輪番病院と連携した取り組みを進めます。



複合型訓練施設(イメージ)

地球規模の気候危機に向けた**地域脱炭素**の取り組みも正念場です。地域脱炭素宣言以降、実効性のある取り組みを実践する事業者等とのパートナーシップの構築、地域脱炭素推進プラットフォームの設置などに取り組んでまいりましたが、もとよりそれらが真に機能するかが肝要です。市民や企業、団体等が連携を図りながら、現に**二酸化炭素を減らす行動**に繋がるよう実質を伴った取り組みとしてまいります。

土地の未来

私たちの生活を支える土地の未来も切り開いてまいります。

まずは、農地です。地域計画の策定を進めるとともに、担い手等が営農を継続できる環境となるよう**津市独自の営農継続支援事業**を展開します。次に山林です。令和6年度から**森林環境税の課税**が始まります。森林環境譲与税の譲与基準の改正により、同譲与税の増額も見込まれます。次なる段階として活用使途等について市民の皆さまの御理解をいただきながら、経営管理権を設定した森林の間伐など**森林の持つ多面的機能の回復**をさらに進めるとともに、**津市産材の木材利用促進事業**も推進してまいります。

民間事業者による新たな工業用地の確保については、優良な提案を選定し、準備が整った案件から地区計画の指定等に向けた協議を開始してまいります。

河芸町上野地内における**建設発生土処分場**の整備は、かつて養鰻池であった土地に、河川浚渫等の土木事業の促進に資するといった新たな使命を付与し、土地活用の新しい未来を切り開く一例となるものです。機能の早期発現に向け、しっかりと進めてまいります。

さらなる高みに向けて力を尽くす

これまで経験したことがない新しい時代が幕を開けています。

人と人との関係、価値観、制度、ひいては常識とされていたものなど、社会構造そのものが大きく変化してきています。

その変化を受け止め、そして市民に寄り添い、市民の声に真摯に耳を傾け、市民のために何をすべきかを考え抜くことを根底に、これまでの常識や概念にとらわれることなく、新たな視点、柔軟な思考を持って、迫りくる課題にも果敢に挑んでまいります。

「**一歩踏み出し、大きく伸ばしていく**」。

職員と共にこれを胸に、津市のさらなる高みに向けて市役所一丸となって力を尽くしてまいります。